

日本映像学会第47回大会プログラム 2021/5/26 版

発表者名文頭の数字は概要集のページ番号です。

<p>6/5 (土) 13:20 開会の議 斎藤 綾子 学会長 13:30 - 14:20 講演: 越後谷 卓司 「ポスト・ドキュメンタリーの時代、あるいは映像とアートの質的変容」 14:30 - 15:30 シンポジウム: 「講演を受けて: ポスト・ドキュメンタリー時代の表現について」 パネリスト: 小田 香、前田 真二郎、越後谷 卓司 司会: 関口 敦仁</p>			
<p>6/5 (土) 16:00 ~ 17:50 [A1] 司会: 小倉 史</p> <p>16:00 - 16:30 08 江 章章 中国 40 年代以降「崑崙映画会社」の政治化傾向 ～『カラスと雀』を中心に～</p> <p>16:40 - 17:10 09 徐 玉 『香華』(木下恵介 1964) にみる母性幻想とメランコリー</p> <p>17:20 - 17:50 10 中島 晋作 閉所のなかの裏切りと死——増村保造における密室</p>	<p>[B1] 司会: 酒井 健宏</p> <p>16:00 - 16:30 18 福島 可奈子 明治期における仏教教育幻燈の実際——池田都楽製スライドを中心に</p> <p>16:40 - 17:10 19 藤田 奈比古 松竹の残酷時代劇—1960 年代の松竹京都撮影所作品を中心に</p> <p>17:20 - 17:50 20 田村 順也 コロナ禍の世界の映画館状況 —2020 年世界興行収入と映像配信収入にみる今後の映画界について</p>	<p>6/5 (土) 16:00 ~ 17:50 [C1] 司会: 青山 太郎</p> <p>16:00 - 16:30 28 有持 旭 エストニア芸術におけるアニメーション表現の潮流と今後の行方</p> <p>16:40 - 17:10 29 林 緑子 サークルとしてのアニメーション文化——1980 年～2000 年代を中心に</p> <p>17:20 - 17:50 30 小出 正志 遠隔授業によるアニメーション系専門教育の現状と課題</p>	<p>[D1] 司会: 石井 晴雄</p> <p>16:00 - 16:30 38 猪鼻 秀一 蒼い影の弔い</p> <p>16:40 - 17:10 39 芦谷 耕平 Tokyo LockDown</p>
<p>6/6 (日) 10:00 ~ 11:50 [A2] 司会: 前田 真二郎</p> <p>10:00 - 10:30 11 小川 真理子 『アンダルシアの犬』再考— —「アトラクションの映画」の現在の視座を用いて</p> <p>10:40 - 11:10 12 西村 智弘 3つの前衛映画(傾向映画、アヴァンギャルド映画、プロレタリア映画) ——前衛映画発表会(1930)の周辺</p> <p>11:20 - 11:50 13 一之瀬 ちひろ スタン・ブラッキー作品における揺れ動く映像 —『夜への前ぶれ』を中心に—</p>	<p>[B2] 司会: 池田 泰教</p> <p>10:00 - 10:30 21 溝淵 久美子 綿山教正『活動写真劇の創作と撮影法』における映画シナリオライティング法</p> <p>10:40 - 11:10 22 Vlasov Sergei 北野武映画のスタイル ～編集技法を中心に～</p> <p>11:20 - 11:50 23 名手 久貴 360 度映像観察時の視線分布 — カット割りの有無と観察姿勢要因の考察 —</p>	<p>6/6 (日) 10:00 ~ 11:50 [C2] 司会: 伏木 啓</p> <p>10:00 - 10:30 31 水野 勝仁 iPadOS のポインタのあたらしさ ——ヒトとディスプレイ上の映像との連動の歴史からの考察</p> <p>10:40 - 11:10 32 木村(明貴) 紘子 「文化庁メディアアート年表」の考察と展望</p> <p>11:20 - 11:50 33 村上 泰介 幼児の身体と視聴覚を追求する環境の構築</p>	<p>[D2] 司会: 片山 一葉</p> <p>10:00 - 10:30 40 周 業欣 中国伝統的な手漉き紙—「安徽宣紙・富陽竹紙・貴州楮紙・夾江竹紙」</p> <p>10:40 - 11:10 41 黒岩 俊哉 実験映像作品『Sakura no Shinzo - REVERSE II-』における表現と考察 —映像作品『桜の心臓』との比較をつうじて</p> <p>11:20 - 11:50 42 高山 隆一 『いってきます』(2021 年) —劇映画作品におけるスクリーンサイズ—</p>
<p>6/6 (日) 14:00 ~ 16:30 [A3] 司会: 吉村 いづみ</p> <p>14:00 - 14:30 14 張 倩 『風雲のチャイナ』の中国イメージを解読する</p> <p>14:40 - 15:10 15 國永 孟 『旅情』(1955 年)のまなざしをめぐって: ジェンダー ／観光と「ヘリテージ映画」の観点から</p> <p>15:20 - 15:50 16 Molner Levente ヤンチャー・ミクローシュ監督の『密告の砦』における空間表象について</p> <p>16:00 - 16:30 17 伊集院 敬行 ペドロ・アルモドバル『抱擁のかけら』の精神分析的解釈: 映像を見ること、映像に触れること</p>	<p>[B3] 司会: 宮下 十有</p> <p>14:00 - 14:30 24 入倉 友紀 青島映画の名花たち: 日本におけるブルーバード映画俳優の受容</p> <p>14:40 - 15:10 25 神田 育也 『カピリアの夜』のカメラ目線—1950 年代における TV との関わりから</p> <p>15:20 - 15:50 26 住本 賢一 『2001 年宇宙の旅』の「スター・ゲート」シーンに関する同時代の受容の再検討</p> <p>16:00 - 16:30 27 戴 弁 コロナ禍の中での映画の革新 ～岩井俊二の『8 日で死んだ怪獣の 12 日の物語』の考察～</p>	<p>6/6 (日) 14:00 ~ 16:30 [C3] 司会: 関口 敦仁</p> <p>14:00 - 14:30 34 小西 祐矢 「驚異の存在」による表現研究 関係性による分類とストーリー構築</p> <p>14:40 - 15:10 35 栗原 康行 SNS 動画の最適表現及び拡散方法の分析とコンテンツ倫理の研究</p> <p>15:20 - 15:50 36 須藤 信 複数人が同時視聴可能な SR 映像コンテンツの開発</p> <p>16:00 - 16:30 37 平野 大 ファッション誌画像を用いたトレンド感性分類についての記号学的アプローチ</p>	<p>[D3] 司会: 山本 努武</p> <p>14:00 - 14:30 43 織田 理史 総合・相関なきマルチメディア・アート—インタラクティブ・アートからマルチパース的アートへの転回</p> <p>14:40 - 15:10 44 草原 真知子 作品「皆既日蝕」から考察する阿部修也とナムジュン・パイクのコラボレーション</p> <p>15:20 - 15:50 45 野地 朱真 CAVE 型 4 面スクリーンを利用した動画空間の表現</p> <p>16:00 - 16:30 46 泉 順太郎 ビデオゲームにおける、プレイヤーキャラクターと転換子</p>